

Ocean Style

オーシャンスタイル・パーフェクトボート

Perfect BOAT

すべてのボートファンに贈る、海とボートのスタイルマガジン

AUG. 2009

オーシャンスタイル・パーフェクトボート
8月号 第7巻第10号 通巻73号
平成21年8月1日発行 毎月1回1日発行

定価1500円

8

特集

KING OF FISHER

CAROLINA SPILT 48 & 52
VIKING 68
HATTERAS 60
LUHRS 37
and more

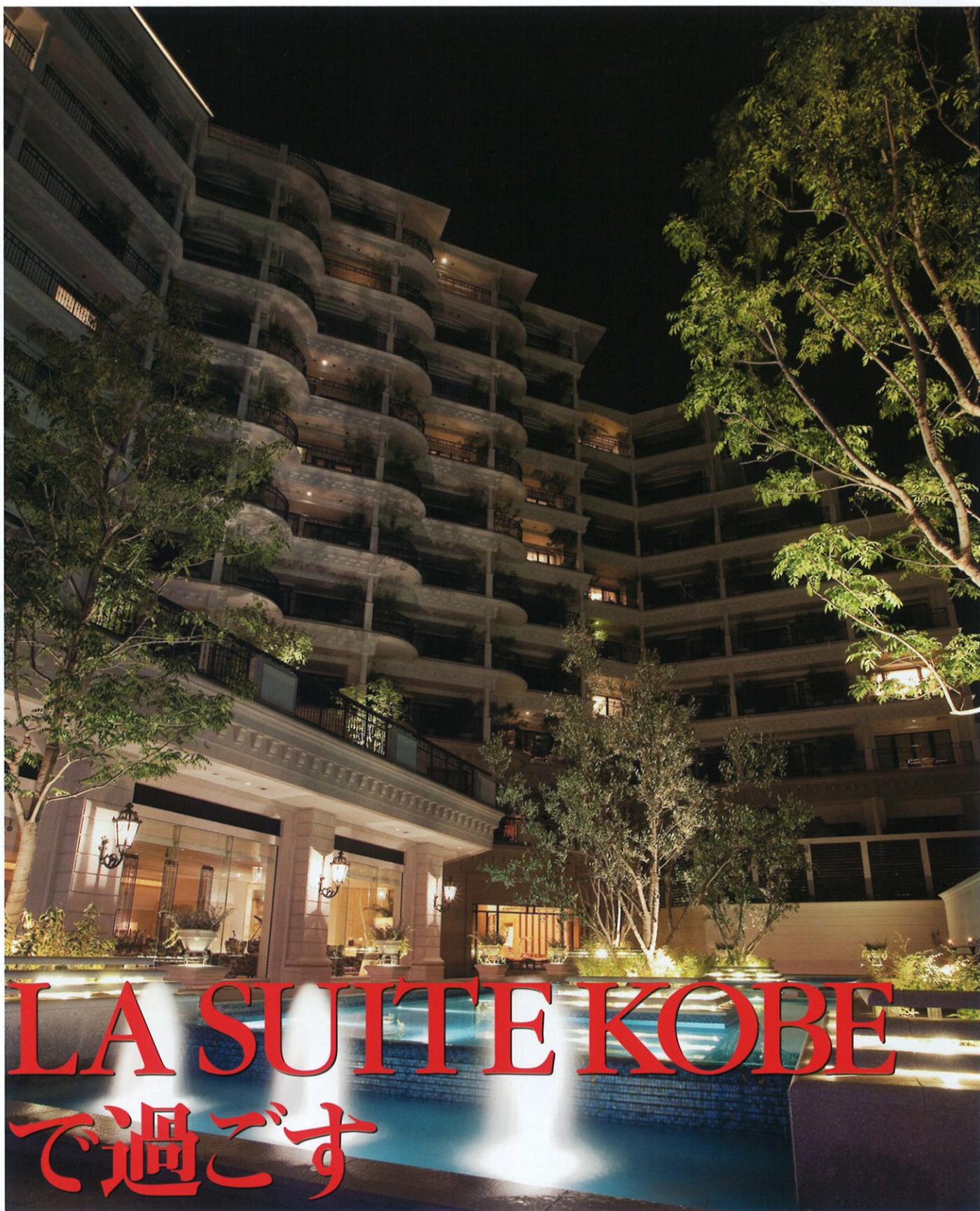


SPECIAL
GOLD EXPERIENCE
豪華客船で行く
カリブ海の旅

Photo Story 喜多嶋隆

ホビダス
趣味の総合サイト

www.hobidas.com



LUXURY なひと時

アーバンリゾートという看板を掲げながら確かに都会(アーバン)にあるがリゾートとは決して言えないホテルが乱立する中、神戸のウォーターフロント、キラキラと輝く都会の中に建ち、背後には緑豊かな六甲山が美しく連なる最上級の立地条件に建つ本当のアーバンリゾートがある。ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランドは夜、最高の演出をする。

photo: Makoto Yamada

text: Perfect BOAT MAGAZINE

special thanks: ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド

TEL: 078-371-1111

<http://www.ls.jp>



ゴージャスでエレガントな 大人のリゾート

その夜景は、空の淡い黒、六甲山系の濃く深い黒、ひとのぬくもりを感じる神戸の街並による暖かで明るい光の黄色、ポートタワーなどシンボリックな建物が放つ華やかな灯りは宝石箱の中を覗いているような色鮮やかな配色。そしてまた神戸港により夜の海の色はダークでその延長線上に空の漆黒と交わり、ホテルからの夜景は、様々な色のコントラストを展開する大パノラマを演じる。海に向かってブーメラン型に建築されたホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド。3階までは御影石で覆われ、歴史とともに風合いを増す建築物。震災を経験した神戸ならではの耐震設計強度は、通常の1.4倍にもなる頑強なSRC造りという。50年、100年後を見据えた設計、風格をともなったラ・スイートは必ずや神戸の顔となるだろう。

ブーメラン型の理由は、ステートルームが神戸港を望む全室オーシャンビューだからだ。また70ある客室は4室と同じ部屋はなく、宿泊に訪れるたびにひと味違った雰囲気を楽しむことができる。客室は本来ならば箱型区切っていった方が営業面積からの観点では効率的だ。しかし非日常を謳うリゾートなのだから、もっとも配慮すべきは優雅さ、心の安らぎだ。箱型ではなく、まるで生き物のように有機的に組合わさる客室群。廊下では誰がどの部屋を利用しているかわからぬよう、客室のドアが平面に並ばない。つまりプライバシーを保てるように設計されているのだ。スタンダードルームでも広々としたテラスを有し、1室の総面積は70平方メートルを越す。それは通常のホテル客室ならばスイートルームにも匹敵する面積だ。

ラ・スイートの最上級ルーム、白を基調としたヨーロッパテイストのスイートルームの名はラ・レース。女王陛下という意味だ。客室面積



スイートルームとしては3番目の価格帯となるグレース・スイートではあるが、それでもこのゆとりあるテラス。テラス面積だけで68平方メートルもある。



スイートルームの最大の特典はベッド脇に置かれたこの携帯電話にある。宿泊中は館外へも持ち出せ、バトラー・サービスが受けられる。



グレース・スイートには和室もついている。広々とした空間に様々なエッセンスが加わり、スイートルームを満喫することができるのだ。



この部屋はグレース・スイートのバスルーム。
JAXSON社製の最高峰ジャグジー「TONDA」
が備わるが、スイートルームだからこそ仕様
ではない。ラ・スイートでは50室以上の客室に
このジャグジーが存在するのだ。



ラウンジ&バーのグラン・ブルーはカフェ、シングルモルトウイスキーのほか、シェフソムリエが厳選したワインも味わえる。

は114平方メートル。テラス面積は100平方メートル。ラ・レーヌ・スイートの総面積は214平方メートルにおよぶ。単純計算ではあるが、そのテラス面積だけで30名ほどのパーティを催すことができるほどだ。

続いてル・ロワ・スイートはジャポネスクテイスト。和のイメージを持ちながら家具がアルマーニで統一されている。イタリアアルマーニ・カーザ社のファニチャーが驕られる客室面積は124平方メートル。テラス面積は26平方メートル。総面積は150平方メートル。ル・ロワ、王の名を冠したこのスイートルームは、客室内に落ち着きを保つ畳敷きの和室も有する。

3つめのスイートルームはグレース・スイート。客室面積は101平方メートル。テラス面積は68平方メートル。ラ・レーヌ・スイートの総面積は169平方メートルとなる。

すべての客室には携帯電話が備わり、レストラン、バー、スパなどホテル全館においてその携帯電話でサービスを受けることができるが、スイートルームでの特典はさらに、宿泊中にその携帯電話をホテル外に持ち出すことも可能ということだ。そこからどんなメリットが伺えるかというと、例えば神戸市街地、南京町など観光へ出向いていたとしても、その携帯電話でリムジンの手配、バトラー・サービスを受けることができるのだ。

ひとり一人オーダーメイドのサービスを提供するラ・スイート。お客様の顔、目を見て何を望んでいるのかを察する洞察力、心配りを教育されている従業員は誰もがコンシェルジュとしての役割を果たす。新幹線、飛行機の予約から観光、劇場チケットの手配まで宿泊客のリクエストに対応する。また外国からの客人にも対応できるよう英語はもとよりフランス、イタリア、ドイツ、スペイン、ヒンズー、ネパール、パキスタン、中国、韓国と10カ国語のスタッフを揃えているのだ。

神戸を活性化するために生まれたホテル。海と向き合った、まさに海との対話を楽しめるリゾートだ。神戸港を望む最高の立地条件。そのアクセスは陸からも海からも可能。ホテルのすぐ横には旅客船、



バーラウンジに入ると世界の至宝、スタインウェイのグランドピアノThe Henry Z. Steinway Limited Editionが、まず目に飛び込んでくる。



夜風に当たりたい。潮風を感じていたい。最高のシチュエーションで素敵な今宵は、神戸港から聴こえる汽笛をつまみに、カクテルでも楽しもうか。

グラン・ブルー

毎週土曜日の夜ともなると、世界にわずか91台しか生産されなかったその「最高のピアノ」によるジャズピアノのライブ演奏を聴くことができる。またバーでのこだわりは100を越すシングルモルトウイスキーの数々。ここでは最上級のシガーであるハバナシガーが保湿ケースに保管用意されているので、葉巻による芳醇にして濃厚、贅沢な時間をも楽しむことができる。神戸の夜を静かに、そして優雅に楽しむには最高の隠れ家だ。17:00まで禁煙、17:00以降は分煙。
 ティータイム 7:00~17:00
 (17:00ラストオーダー)
 昼食 11:30~15:00 (14:00ラストオーダー)
 カクテルアワー 平日17:00~1:00
 (0:30ラストオーダー)
 日曜/祝日17:00~0:00
 (23:30ラストオーダー)



大型遊覧船などが停泊する棧橋があり、またその棧橋の一部をホテルが利用する権利も有する。しかしすべての船を着けられるわけではない。着岸には棧橋の所有者である市への事前申請が必要だ。港は貨物船、旅客船、大型遊覧船が航行し、それらを係留する目的で造られた棧橋なので、臨時係留においても20トン以上のボートでなくては着岸が認められない。また申請には船舶検査証明書コピーの添付が必要で、申請すれば必ず留められるというわけでもない。着岸希望があるならば、まずはホテル側へ一度、問い合わせてみるのがベストだろう。P.B.





鉄板焼「心」

兵庫五国にこだわった地産食材をベースに、シェフがひとり一人食べるベースに合わせ、焼きを入れる。せっかく神戸へ来たのだから、ここではやはり最上級の神戸ビーフを味わってみたいものだ。鉄板の上では厳選された食材のダンス、ライヨールのステーキナイフさばきを軽やかに披露する。その演舞は口の中で大喝采を迎えるだろう。旬の食材を用いた独創的なコースのほかに、日本料理の手法を取り入れたアラカルトメニューも。オーシャンビューのカウンターは12席。ランチの目安は5,000円～。ディナーコースは11,000円～となる。全時間帯前面禁煙。要予約。
 昼食 11:30～15:00 (14:00ラストオーダー)
 夕食 17:30～22:30 (21:00ラストオーダー)



ル・クール神戸

室内44席、テラス20席のフレンチレストラン。ここで地元の食材にこだわり、季節の野菜とともに食事を楽しみ、コース料理を主体にアラカルトもご用意。ランチの目安は5,000円～。ディナーコースは11,000円～となる。12月31日まで世界トップ5の人気を誇るシャンパーニュ「ニコラ・フィアット」フェアを開催中。シャンパンのアワを表現したボトルに収まるプレステージ・シャンパン「キューヴェ・パルム・ドール」は「ニコラ・フィアット」の最高のヴィンテージ。この機会にぜひ。全時間帯前面禁煙。要予約。
 朝食 7:00～10:30
 (10:00ラストオーダー)
 昼食 11:30～15:00
 (14:00ラストオーダー)
 夕食 17:30～22:30
 (21:00ラストオーダー)



ウォーターフロントに建つ白垂のリゾートホテル、ラ・スイート神戸。豪華さの中に高品位ならではの落ち着きを見せる正面玄関では、コンシェルジュが迎える。



すべての従業員がコンシェルジュ。10カ国の言語スタッフを揃え24時間笑顔でお客様を迎える。パトラー・サービス、リムジンでの送迎のほか、細やかな心配り、ホスピタリティこそが極上のホテルに求められるものだ。



モンテカルロ湾を見下ろすモナコのホテルよろしく、ラ・スイートの最上階にある白を基調としたスイートルーム、ラ・レーヌ。テラス面積だけで100平方メートルもあり、このテラスでは30名ほどのパーティを催すことも可能だ。



サービスマンの技術、ホスピタリティを競う第1回メートル・ド・テル・コンクールにて優勝したキャリアを持つ槍山和司総支配人は「その大会では審査員長がフランス人で、ホテルマンとしての振る舞いが、外国人にも認められたのです」と自身の経験を語ったうえで「日本人としての細やかな心配りこそが最も大切で、このラ・スイートでは個々のお客様に対して、隅々までおもてなしをできるようにスタッフを揃えております」と付け加えた。

ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド

兵庫県神戸市中央区波止場町7-2
 TEL: 078-371-1111
<http://www.l-s.jp>

【アクセス】

神戸市営地下鉄海岸線「みなと元町」(徒歩約4分)
 JR線「神戸駅」(徒歩約10分)
 JR線・阪神線・神戸高速鉄道「元町駅」(徒歩約15分)
 阪急線・阪神線・神戸高速鉄道・神戸新交通・神戸市営地下鉄「三宮駅」(タクシー約8分)
 JR線・神戸市営地下鉄・北神急行電車「新神戸駅」(タクシー約15分)
 神戸空港「マリニア」(タクシー約15分)
 阪神高速3号神戸線「京橋出入口」よりクルマで5分